

シルバー事業の理念

「自主・自立、共働・共助」

- 1・ともに働き、ともに助け合っていくことを目指す
- 2・地域社会に活力を生み出し、ひいては地域活性化につなげていく
- 3・豊かで積極的な高齢期の生活と社会参加によるいきがいの充実を図る

広報



第34号

公益社団法人行田市シルバー人材センター 行田市旭町13-24 電話048-556-5221

令和5年度 定時総会開催

行田市シルバー人材センターの令和5年度定時総会が6月26日、行田市商工センターに行田邦子行田市市長、野本翔平行田市議会議長を迎えて開催されました。

総会に先立って、10余年にわたってシルバー人材センター発展のために活躍された18名の正会員に、その功績を称えて表彰状が送られました。議事では①報告事項1 令和5年度事業計画について②



報告事項2 令和5年度収支予算について③報告事項3 令和4年度事業報告について④報告事項4 令和4年度収支補正予算について⑤議案第1号 令和4年度収支決算について⑥議案第2号 理事及び監事の選任についてまで、全て承認可決されました。

安全就業優良シルバー人材センターに

6月22日、東京千代田区の教育会館で開催された全国シルバー人材センター事業協会の令和5年度定時総会で「令

長野県飯山市。標高10

20mの野々海高原の湿地帯に咲く水芭蕉。その脇に野鳥のタマガゴが(6月)。

撮影 佐藤トミヨ会員

フレイル教室の開催

フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間的な状態で、加齢とともに心身の活力(筋力や認知機能)が低下したことを言います。フレイルに早い段階で気付き、日々の生活を見直すことでフレイルを予防したり改善できます。

この予防教室はシルバー会員を対象に7月28日、8

月3日、8月8日の3回コース。会場はコミュニケーションセンター「みずしろ」。午前10時〜正午。定員20名。内容は栄養プログラム、運動プログラム、社会プログラム、コーデイネーション運動、ストレッチ・筋力運動、体力測定。動きやすい服装で、筆記用具と飲み物を持参のこと。申し込みはセンター事務局(556・5221)へ。

和5年度安全就業優良シルバー人材センター」として関東ブロックで唯一当センターが表彰されました。

埼玉県シルバー人材センター連合「いきいき埼玉」の推薦で、5月23日に開催された全シ協の「令和5年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター等選定委員会」の審査の結果です。当センターとして大変名誉なことです。

春のボランティア活動

6月3日、会員30名が参加して古代蓮の里公園の除草を行いました。

この活動は、センターのPRと会員の交流が大きな目的。

この日は前日の雨が朝まで残っていて、参加者の出足がにぶい。作業を始める頃には雨もやみ、全員で牡丹園の草取り。会話を楽しみながら約1時間で牡丹園がすっかりきれいになりました。



春の親睦会研修旅行

茨城の寺社などをたずねて

茨城の寺社などを訪ねる親睦会春の研修旅行が6月19、20の両日、19人が参加して行われました。梅雨も中休み。早朝、行田を出ると車内後方のサロンシートではテーブルを囲んで早速宴会。

桜川築西ICで北関東道を下り、筑波連峰の端を占める雨引山の中腹に建つ山寺・坂東三十三観音霊場第二十四番札所「雨引観音」楽法寺へ。

山門に上る石段や境内には3000株とも言われる様々な種類のアジサイが。アジサイに囲まれた山門の前で記念撮影Ⅱ写真。

筑波海軍航空隊記念館に立ち寄り、水戸ドライブインで昼食。常陸の国最古の霊山「御岩神社」を参拝。神仏習合色を遺す日本を代表するパワースポット。推定樹齢500年、樹高約50m、幹周8・48m、地面から3mの

ところから幹が3本に分かれている御神木の三本杉の威容に圧倒される。この日の泊まりは山に囲まれた静かな宿、横川温泉・中野屋旅館。

全国でも希少な自噴泉の湯で、泉質は（アルカリマインスイオン）PH値は県内1、2位の名湯と云われ、単純硫黄泉でぬめりのある美肌の湯。

宴会は酒良し肴良し。カラオケが始まり最高潮に。地物食材にこだわった朝食も美味しく、お櫃を空にしてお代りするグループも。帰路は海側へ。那珂湊や大洗で旅行支援の地域クーポン券で海産物をお土産に。大洗・潮騒の湯で昼食。

予科練平和記念館を見学。館外にはゼロ戦の実物大模型や人間魚雷の実物大模型が展示されている。全国から試験で選抜した14歳から17歳までの少年を搭乗員としての基礎訓練。昭和5年から終戦までの15年間に約24万人が入隊し、

その内約2万4千人が飛行練習過程を経て戦地へ。戦況の悪化により神風特攻隊として出撃した若者の戦死者は8割の1万9千人にのぼったという。

予科練に入隊し、訓練の様子、心の葛藤や辛い予科練生活の中の息抜き、悪化する戦局から最後は特攻に行く姿など、当時の戦局と絡めて順々に展示。特攻隊の若者たちが出撃を前に書いた遺書や遺留品が保管されている。父母への最後の手紙は胸に刺さる言葉が。命の尊さ、重み、大切さを考えさせられ、意義ある研修旅行になりました。

サロン映画鑑賞会「ローマの休日」

サロンの映画鑑賞会が6月16日に行われました。

上映は1954年に日本初公開されたアメリカ映画「ローマの休日」。

ヨーロッパ最古の王室の王位継承者のアン王女（オーディリー・ヘップバーン）と



アメリカの新聞記者（グレゴリー・ペック）がローマを舞台にしたロマンティックでちよつと切ないラブコメディ。劇中では、テレビの泉や真実の口、コロッセオなど、ローマの観光スポットが登場。アン王女の1日の恋模様コミカルに描かれている。

シルバー世代にとって青春時代は映画が「娯楽の王様」だった。当時を思い出しながらの鑑賞。不朽の名作と云われるこの作品、60年後に改めて納得。

今回の鑑賞会は7月21日午後2時から、2008年の日本映画「おくりびと」。